

1. 出題範囲

科目 2 の「介護における尊厳の保持・自立支援」から科目 9 の「こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。

2. 出題形式

四肢択一形式および記述形式の筆記試験とする。

3. 出題数と配点方法

- ① 択一問題 40 問 (配点 80 点)
- ② 記述式問題 10 問 (配点 20 点)
- 全問正解 100 点

4. 合否判定基準

70 点以上を合格とする。

5. 不合格になったときの対応方法

- ① 合否判定の結果、不合格者には補講・再評価を 2 時間程度実施する。  
なお、再評価の合否判定基準についても 70 点以上を合格とする。  
1 回あたり (2 時間程度) の補講料・再評価料は 10,000 円とする。
- ② 不合格者に対する補講・再評価は 2 回までを限度とする。

※出題範囲：科目の範囲、テキストの範囲等を記載する。

※出題形式：選択式、記述式等形式を記載する。

※出題数と配点：出題形式の数とそれの配点 (合計は 100 点) を記載する。

※合否判定基準：基準点数を記載する。

※不合格対応：補講・再評価 (いつ、時間数) を行うか。補講料・再評価料の有無と金額等を記載すること。